

ギカイのひろば

2021.11.10

◆CONTENTS

- ◆どう使われたか私たちの税金
議員が総点検 ▶P6
- ◆町政を問う
—議員10人から一般質問12件— ▶P12



特集

ボランティア団体

おはなし企画

&

町議会

ギカイのひろば

2021.11.10 Vol.230

みずほ議会だより 発行/瑞穂町議会 編集/議会だより編集委員会

つなごう ～みずほ子どもたちの輪～

スポーツで町を盛り上げたい

小学4年生の時にバスケットボールと出会い、瑞穂二中時代には都の選抜チームに選ばれました。22歳でノンプロの選手として天皇杯に出場。それを最後に選手として引退し、指導者を志しました。現在、プロリーグのジュニアチームのコーチをしながら、瑞穂町の子どもたちにバスケを通じてスポーツの楽しさを伝えています。「横田基地の子どもたちとの交流試合はチアの応援もあり、ジュニアチームと思えないほど本格的ですよ」と笑顔で話してくれました。「将来、Bリーグに行くような地域クラブチームを瑞穂町に作りたい。スポーツで町を盛り上げたい」そんな夢を抱きながら今日も子どもたちの心と体を育てています。

小松 揚明さん▶



次回 12月定例会(予定) 12月1日～14日

次の定例会は
12月1日(水)～
午前9時30分開会

日	月	火	水	木	金	土
14	11月	15	16	17 請願、陳情の 受付締め切り日	18 議会運営委員会	20
21		22	23	24	25	27
28		29	30	1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)
5		6	7 総務産業建設委員会	8 厚生文教委員会	9	10 議会運営委員会
12		13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17
						18

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴にお越しの際は、お電話またはホームページで日程などをご確認ください。

編集後記



▲10月に開催された「日本U19トライアスロン選手権」で5位に入賞した島崎菜央さん(元狭山)

オリンピック・パラリンピック東京大会が開催され、たくさんの日本人メダリストが誕生しました。そして、その多くのメダリストからは、支えてくれた方々への感謝の言葉がありました。人類の可能性と、そのために何が必要なのかを見せてくれたような気がします。

「ギカイのひろば」もご協力いただいた皆さまに感謝し、新たな可能性を求めて進んでいきます。

文：森 亘

編集委員
山崎 栄 近藤 浩
森 亘 小川 龍美
村上 嘉男 香取 幸子



瑞穂町議会

検索

インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

ボランティア団体

おはなし企画



町議会

紙芝居や人形を使い、楽しく読み聞かせをしてくれる「おはなし企画」。イベントでは、子どもから高齢の皆さんに大変喜ばれています。今回、結成5周年を迎えて、そんな節目も「進化の過程です（笑）」と語る皆さんにお話を伺いました。

※書面アンケートをインタビュー形式に編集しています。

「いんなお話をしてみたい」「一緒にやりましたら参加してください。」

Q 設立のきっかけは何ですか。

— 知人がやっていた「大人のための読み聞かせ」を瑞穂町でもできたらいいなあと思いつき、ボランティアセンターみずほが実施した音訳講座参加者の有志が狭山池のほとりで始めたのが設立のきっかけです。

Q 5周年を迎えて今のお気持ちは。

— メンバーの発案を基に試行錯誤していますが、その時間がとても楽しいです。5周年はまだ進化の過程です。

Q 参加のきっかけを教えてください。

— サポーターのつもりで参加したら、そのままズルズルと…（笑）
— 朗読ボランティア養成講座の参加がきっかけです。

— もともとお芝居や読み聞かせをしていました。「表現することを続けたい」と思っていた時にメンバー募集の記事を見つけて、参加を決めました。
— 公演を聴いたことがきっかけです。朗読に興味があり、定年退職後、地元でボラ

Q 楽しかったエピソードはありますか。

— デイサービスへ読み聞かせに行ったら、サインを求められました。
— 練習前の雑談が楽しくて、気がつくとな練習時間が…（笑）
— 「瞼の母」の役柄で、実際にきせるを持ってセリフを言ったら、大受け。
— 特別に仕立てた自転車を使って、駄菓子



を配って公演した紙芝居。懐かしさがありました。

— 「赤い蠟燭と人魚」の朗読では、みんなで切り絵を手作りして影絵の映像を作成しました。聞いて楽しく見て美しい作品になったと思います。
— 次の出し物の構成を練っているときはワクワクします。

Q 活動で印象に残っていることは何ですか。

— 腹話術人形のくりちゃんを仲間にしたことです。
— 夜、企画の下見で、元狭山神社に行ったら、パトロール中の警官と鉢合わせ。数日前にさい銭泥棒が出たとか。びっくりしました。
— 初めて作品を聴く人が、耳だけで作品の

世界観や魅力を感じ取れるように朗読するのは、とても難しいと実感したことです。

Q 参加して良かったことを教えてください。

— お客様の「とても良かった」の声はうれしいですね。
— 懐かしい絵本から新しい絵本まで、いろいろ楽しめることです。
— いろいろな考え方や本の読み方を知れたことです。
— メンバーがみんな前向きなことですね。

Q PRをどうぞ。

— どこでも行きます！フットワーク軽いです！
— おはなしの世界は豊かで奥が深いことを私たちの朗読から実感していただけると

Q 今後の目標は何ですか。

— コロナ禍の収束後に、町内各地での街頭紙芝居を軌道に乗せたいです。
— いつまでできるかなあ。
— おはなし企画としてケーブルテレビやコミュニティラジオで読み聞かせ番組を持つようになるのうれしいです。
— みんなで楽しめるお話し企画を、自分も楽しみながら考えていきたいですね。

ご協力ありがとうございました。



みんなを笑顔にしてくれる
村上さんとくりちゃん



桜梅桃李で楽しんでいると話す
嶋田さん



紙芝居の公演が懐かしかったと話す
梅原さん



「いつまでできるかなあ」と語る
五十嵐さん



次回作の構成を練るのが楽しいと語る
久保田さん



デイサービスでサインを求められた
村山さん



いろいろな考え方、本や読み方を知れたと話す
佐野さん

3日間にわたり 延べ180件の質疑 4日目に議員間討議

2年度決算を 認定

今回の議会では、2年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程され、審査の結果、いずれの会計も全会一致で認定されました。

()内は前年度比

会計名	歳入	歳出
一般会計	187億2,544万7,508円 (+13.6%)	183億 261万1,237円 (+13.4%)
国民健康保険	35億9,433万6,542円 (-4.1%)	35億6,476万4,418円 (-3.8%)
駅西土地区画整理事業	11億3,098万 937円 (-26.7%)	10億9,819万6,753円 (-25.8%)
介護保険	24億3,811万 959円 (+6.2%)	23億7,786万1,101円 (+3.8%)
後期高齢者	7億7,829万5,622円 (+5.8%)	7億7,135万8,389円 (+6.0%)
殿ヶ谷財産区	264万7,029円 (-46.5%)	181万7,107円 (-55.8%)
石畑財産区	1,078万5,405円 (-44.6%)	863万6,332円 (-49.4%)
箱根ヶ崎財産区	450万4,810円 (+55.8%)	306万7,040円 (-65.5%)
長岡財産区	79万1,167円 (-14.4%)	50万4,630円 (-21.5%)
会計名	収益的収入	収益的支出
	12億9,522万3,089円	11億6,649万6,859円
下水道事業会計※	資本的収入	資本的支出
	3億6,725万8,300円	5億3,004万6,146円

※2年度開始のため前年度比はなし



1～3日目 町の説明員同席のもと審査
4日目 議員間討議

委員長 原 隆夫
副委員長 森 巨

決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、議長、議会選出監査委員を除く12名により審査を行いました。

賛成討論

森 巨 議員

2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた149の事業が中止、縮小、延期となった。しかし、コミュニティバス運行実現に向けた協議および事務事業、第5次長期総合計画、都市計画マスタープランの策定、待機児童ゼロの実現、町独自の事業継続支援給付金の実施など、コロナ対策をしながら、重要な事業や施策に取り組み、実現させた。また、町のワクチン接種事業については、集団接種と個別接種の併用などさまざまな工夫により効率的な接種体制を確立し実施したことなどは特に高く評価できる。



新型コロナウイルス対策のため、議場で審査を行いました。

pick up 1

議案第63号 令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号）を可決

キャッシュレス決済の普及・促進を

Q キャッシュレス決済機器導入促進事業委託料と補助金で再度約250万円計上しているが内容は。

A 町内の中小店などにキャッシュレス決済を普及するため、必要な機器の導入経費の一部を補助し、その活用を促すことで商業のデジタル化、新しい生活様式の促進を図る。補助率は3分の2で上限は10万円。ただし、フランチャイズ店は除く。



日ごろの防災活動に財団から170万円の補助

Q 武蔵野自衛消防隊装備品として約171万円を計上しているが内容は。

A 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじ助成で、170万円の補助を得て装備品を購入する。内容は、隊員の作業着、編み上げ靴、防寒着、カスタムベルト、業務用無線など16点を予定している。

コミュニティバス 実証実験運行を開始

Q コミュニティバス運行事業として当初予算では2,500万円計上していたが、今回さらに4,000万円計上している。主な内容は。

A バスの購入、バス停標識の作成、既存バス2台の改修、PasmoやSuicaなどに対応するためのIC機器設置、中型バス2台のリース代、人件費、燃料費、保険や事務に係る経費など。

Q 今後の年間経費はどのように見込まれるのか。

A 年1億円を超える経費が必要と見込んでいるが、最終的には、年度末に運行等の収入を差し引いた額となる。また、助成金については、都と協議をしている。



どう使われたか、私たちの

税金、議員が総点検

歳入

問 収入未済額が増加した。収納率向上へどのように取り組んだのか。

税務課長 納付相談により固定資産税を月払いにすることで231件で約2,700万円収納できた。また、会計年度任用職員3名が未納者を約6,300件訪問し、約1,100件で約4,200万円収納できた。収入未済額が増えた主な理由はコロナの影響で猶予制度の利用があったためだと考えている。

問 マイナンバーカードの普及促進の成果は。

住民課長 2年度の発行枚数は、3,684枚で、前年度の枚数より2,976枚増えた。無料の写真撮影、申請書記入の手伝い、休日窓口の開設などが普及につながったと考えている。

コロナ対策

問 在宅勤務等の促進のため、ふれあいセンターにサテライトルームを開設したが実績は。

福祉課長 リモートでの授業、就業や入学試験、面接などに必要なwi-fi環境の個室を確保し、3年1月から開始した。会社員や学生など54人が利用した。

問 中小企業などの事業継続のため、町独自で82件、1,640万円を給付しているが、支給後に事業継続が困難になって廃業や事業を縮小した事業者はいるか。

産業課長 国の持続化給付金に該当しない事業者を救う目的で実施した。申請要件を今後の事業継続としており、現在まで廃業、倒産したといった話は商工会からは聞いていない。

評事
価業
評価対象となった事業
(P8・P9 参照)

安全・安心

問 青パト（青色回転灯装備車）による防犯パトロールに約1,600万円支出しているが効果は。また、年々犯罪件数が減少している状況で継続するか検討したのか。

地域課長 学校や住民からの要望に応じて子どもたちの下校時刻となる午後3時からパトロールを開始し、子どもたちの見守りに効果を上げている。継続については今後、調査、研究していく。



松原東公園付近の防犯カメラ

問 防犯カメラ設置工事約225万円の3か所の設置場所は。

地域課長 議会から危険性が指摘された町道2号線（高根坂）の頂上部分、住民要望のあった松原東公園付近、警察から依頼のあった富士山栗原新田の八高線ガード付近に設置した。工事費や申請費など1か所当たり約57万円である。

福祉・健康

問 2年度からスタートした、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実績は。

高齢者福祉課長 多様な問題を抱える高齢者に対して、効率的かつ、きめ細やかな支援のため、各種データを活用し、保健事業と介護予防を一体的に行った。2年度は個別的支援として健康状態不明者12名、また、老人クラブ、認知症カフェなど14か所を巡回し、相談を受けたり、健康教育を実施した。

問 2年度に高齢者のインフルエンザワクチン接種を無償化した成果は。

健康課長 接種率では、前年度37.1%に対して60.5%と大きく増加した。

産業

問 農地の創出・再生支援事業費補助金の内容と成果は。

産業課長 認定農業者が荒廃した農地を購入して再生する取り組みへの支援事業。お茶畑を別の作物の栽培に利用できるように、茶の木の伐根や霜取り用の送風機の撤去などの費用を支援した。今後は、その農地を活用しキャベツやサツマイモなどを栽培していく。農業経営規模の拡大や遊休農地の解消などにも効果があった。

まちづくり

問 栗原地区土地区画整理事業は、組合設立準備会総会により方針変更が確認され、地権者などの合意を3月までに得ると報告があったが実績は。また、都との交渉は。

都市計画課長 住居系主体から、一部住居系を含む産業系の土地利用に方向転換しており、都と協議の上、了解も得た。今後も地権者の意向を踏まえまちづくりを積極的に行えるよう、都との協議を継続して実施する。

問 元狭山地域の不明水対策工事实施設計900万円、不明水対策工事費約8,100万円を支出しているが、工事内容と進捗率は。

都市計画課下水道担当主幹

人孔内の補修を21か所と人孔調査6か所、管渠部分の補修を162か所、直径400mm管の補修工事を37.35m実施している。2年度の工事進捗率は46.8%である。



下水などの管渠を補修するための人孔（マンホール）

子育て

問 移動児童館事業を前年度より80回増やし、合計で205回実施したがその成果は。

子育て応援課長 対象を0歳児にも拡大し、期間限定保育は開館時間を1時間延長するなど工夫をした。利用者数は対前年度で27人増となった。実施を待っている方もいて、移動児童館が非常に浸透してきたと考えている。

問 公園の安全対策の実績は。

建設課長 36公園、197基の遊具を点検した。ブランコのつり部材を交換し安全を確保した。また、31か所の砂場の清掃・消毒を年6回実施した。



防災

問 災害用の備蓄薬品の購入内容は。

健康課長 医師・薬剤師と相談し、263人が3日程度使用できる量の薬剤を備蓄した。内容は、鎮静剤、去たん剤、解熱鎮痛消炎剤、止瀉薬（下痢止め）、強心剤、血圧降下剤など49種類である。



保健センターで備蓄されている災害用薬品

問 防災協定は拡充したか。

住民部参事 6社と協定を結んだ。バス、電力、燃料、物流企業のほか、葬祭関係企業と非常時の備品の提供、段ボールベッド企業と供給に関する協定を締結した。

教育

問 新事業「学びのテーマパーク」の内容と成果は。教育指導課統括指導主事

家庭学習の一部を放課後の学校で行い、児童生徒が選択した学習課題に取り組み、国語・算数・数学を中心に1時間程度行う事業。成果は学習時間が増加したことである。また、自分で学習課題を設定して解くことで、目的意識を持って調べるといった成果もあった。その他、ノートまとめコンクールでは誤字脱字も減り、正しい言葉で書く習慣が身に付いてきた。

問 ふるさと学習「みずほ学」の改善への取組みは。教育指導課長

中学校の職場体験を「みずほ学」に位置付けると共に、過去や現在の郷土についてを主とした学習から、町の未来について創造する学習にも取り組むようにした。学校、保護者、地域など町全体で行うことを強く意識し、発信に取り組んでいる。

議員が注目の施策

議員間討議

委託先が警備会社であり、業務条件を踏まえると決算額は妥当。

近隣市は、小・中学生の下校時間のパトロールを基本にしている。

基地再編交付金を基金で積み立て、始めた事業であり、あと3~4年で原資が尽きるため、見直しが必要ではないか。

近隣市に比べると費用が高額である。
※概算値参考（ただし、瑞穂町のみ業者と契約するなど内容は自治体ごとで大きく異なります。）

羽村市	40時間/月	385万円/年
武蔵村山市	48時間/月	130万円/年
瑞穂町	240時間/月	1,606万円/年

① 防犯パトロール

決算額
1,606万円

町内全域を午後3時~午後11時までパトロールする事業。

抽出理由

コース、時間は効果的であったか。



ここ数年、犯罪件数は減少傾向にあり、犯罪抑止には有効だと思う。

車両1台で7校同時の下校の見守りは難しいのでは。

ボランティアや町民の団体だけで広域で長時間のパトロールをすることは難しいことを考えると、必要な事業だと思う。

◆評価結果

評価項目	防犯パトロール	ふるさと学習	学びのテーマパーク
必要性 住民ニーズ		必要性が高い	
妥当性 町で行わなければならないか		町が主体的に行うことが妥当	
長期総合計画、その他計画との整合性 計画的か	計画に合致している	計画に合致している	概ね合致している
緊急性 / 継続性 優先的 / 継続的に実施する必要があるか	継続性が求められる	継続性が高い	緊急性が高い
有効性 最も有効な方法か		さらなる工夫が必要	

◆議会で報告した意見

防犯パトロール

必要性が高く、継続すべき事業であるが、財源を考えると今後、費用対効果やコース・時間帯など工夫が必要である。

ふるさと学習みずほ学

有効と認められる大変素晴らしい事業であるが、周知など、さらなる工夫をしてほしい。

学びのテーマパーク

事業目標や理念を先生と指導員が共有する工夫をしてほしい。学校ごとに特色は認めつつ、目的、方向性は同じにする必要がある。

3 事業を評価

② ふるさと学習みずほ学

決算額
約16万円

瑞穂町の自然や文化を学び、将来を考え、社会に貢献する心を持つ子を育てる事業。



抽出理由

将来、地域社会の一員としての役割を担う子どもの育成に効果的な事業がなされたか。

議員間討議

地域の方を先生として招いての授業や体験学習などもあり、大変有効だと思う。

教育委員会では、郷土愛の育成、自学自習による学力向上、SDGsなどへの効果を事業目的としているが、ボリュームが多く、理想が高すぎるのではないか。

「瑞穂町が好き」「町のみんなのために何かしたい」そんな子どもたちを育成するのが本来の教育目的では。

教育基本計画のアンケートで、特に中学生と保護者の6~7割がこの事業に対して否定的か無関心な結果であったことは看過できない。

本来は保護者も地域の方もこの事業の目的を認識した方がよい。周知に工夫が必要だと思う。

瑞穂町を「知る」「かかわる」「する」など短くて分かりやすいキャッチコピーの方が良いのではないか。

③ 学びのテーマパーク

決算額
約319万円

家庭学習の一部を放課後の学校内で取り組み、学力の向上を目指す事業。「平日に1日1時間以上、授業以外の学習に取り組む」習慣を身に付けることを目標にしている。対象は、小学4年生以上と中学1・2年生。



抽出理由

学力向上の効果はみられたか。

議員間討議

調べる学習コンクールと連動して子どもたちが自主的に参加し学習している学校もあれば、対象学年の生徒全員に残ってもらい、プリント学習をさせている学校もある。出席率では有効性の判断はできない。

文部科学省が打ち出した、教育を学校だけではなく、地域も含めて自治体全体で取り組む方針に基づいた事業だと思う。ただ、その方針が地域にも学校にも全体的に浸透していないと思われる。

指導員（地域のボランティア）の方針と学校の先生との考え方に開きがみられる。特に中学校はその傾向が顕著である。

必要な事業だが、効果的な事業にするためには、指導員と学校で認識の共有や話し合いの機会が必要だと思う。

これら3事業については、新型コロナ感染拡大防止から十分な現地視察、

先進地視察等を実施できなかったことから、引き続き調査していく。

全会一致で可決（承認・同意・認定）された議案等

議案第 55 号	専決処分の承認について（令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第7号））	
議案第 56 号	専決処分の承認について（令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第1号））	
議案第 57 号	瑞穂町個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 58 号	瑞穂町手数料条例の一部を改正する条例	
議案第 59 号	瑞穂町福祉バス運行基金条例を廃止する条例	
議案第 60 号	瑞穂町副町長の選任について	
議案第 61 号	瑞穂町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第 62 号	瑞穂町道路線の廃止について	
議案第 63 号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号）	pick up!
議案第 64 号	令和3年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第 65 号	令和3年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第 66 号	令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第 67 号	令和3年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議案第 68 号	令和3年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第 69 号	令和3年度瑞穂町石畑財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第 70 号	令和3年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第 71 号	令和3年度瑞穂町長岡財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第 72 号	令和2年度瑞穂町一般会計歳入歳出決算認定について	
議案第 73 号	令和2年度瑞穂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 74 号	令和2年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 75 号	令和2年度瑞穂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 76 号	令和2年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 77 号	令和2年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 78 号	令和2年度瑞穂町石畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 79 号	令和2年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 80 号	令和2年度瑞穂町長岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第 81 号	令和2年度瑞穂町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	
議案第 82 号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第9号）	
議案第 83 号	令和3年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
議案第 84 号	令和3年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第3号）	
議員提出議案第 2 号	瑞穂町議会会議規則の一部を改正する規則	
議員提出議案第 3 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	

pick up!



※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。

～総務産業建設委員会で審査～

日本が「核兵器禁止条約」に署名・批准するよう、政府に意見書を提出して欲しい

2つの陳情
一括審査

3陳情第11号

「核兵器禁止条約の署名、批准に関する陳情」

提出者 新日本婦人の会お茶の実会
代表 青木 道子

3陳情第12号

「核兵器禁止条約の署名・批准を求める陳情」

提出者 みずほ9条の会
共同代表 谷 四男美、榎棠 まゆみ

委員会での審査および討議

亡くなった方は、広島で14万人、長崎で7万4,000人、被爆の後遺症で亡くなった方も合わせると50万人に達する。日本は唯一の被爆国であり、署名すべきであった。

政府はこの条約を否定しているのではない。単に署名・批准するのではなく、実効性のあるものにすることが重要と考えたのではないかと。

核兵器の保有国と非保有国の対立、分断を回避し、核によらない安全保障の在り方について進めていくことを担えるのは唯一の被爆国である日本であると考えて判断していると思う。

戦後、世界では内戦も含めて100以上の戦争があるが、核兵器は使われていない。現時点で、核兵器が抑止効果になっているという許されざる現実がある。

隣国は国連のあらゆる決議を無視し、核実験や弾道ミサイルの実験をしている。核兵器を保有していない日本が核の脅威にさらされている状況にある。

核兵器廃絶は賛成だが、現実には国民の命を守るために何が必要か拙速に判断はできない。

国内外の動向も含めて、深く広く情報を収集して結論を下すべき重要な内容であり、継続してさらに調査を進めるべきだと思う。

審査の結果、全会一致で、次回定例会までに調査を継続して行っていくことになりました。

オスプレイの市街地上空での低空・旋回飛行の中止などを強く要望

8月4日、町と共に、北関東防衛局、防衛省（市ヶ谷）を訪問し、横田基地対策について要望活動を行いました。*
今夏にオスプレイが1機追加配備され、これまで以上に騒音や低周波振動が懸念されることから、C-130輸送機なども含めた低空飛行による旋回の中止を求めると共に、コロナ感染症や事故の速やかな情報提供などを強く訴えました。また、災害時の対応なども言及し、さらなる協力を求めました。
*緊急事態宣言中のため、総務省・外務省・環境省は郵送で実施。



委員会活動報告
基地対策特別委員会



※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。

一般質問

議員10人から一般質問12件

一般質問とは？

町で行なっている事業の現況や将来の方針に関して、町長や教育長に問題点を質問したり、政策を提言したりします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。

なお、今定例会では、「みずほまる」を応援するため、胸と襟下にイメージをあしらった特製ポロシャツを着用し、本会議に臨みました。



小川 龍美 議員 (公明党)

不登校児童生徒への支援について問う

教育長 適応指導教室に通えない児童・生徒への支援に努力する



質問 不登校児童生徒は、全国的に増加の一途をたどり高水準で推移している。文部科学省は元年10月の通知で、支援については学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、既存の学校教育になじめない児童生徒については、教育支援センターや不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクールでの受け入れなど、さまざまな関係機関などを活用し社会的自立への支援を行うことを求めている。町の対応について伺う。

教育長 町では中学校の不登校出現率が4.5%台と国や都よりも常に高い数値で推移している。教育委員会では、国の不登校児童生徒の多様な教育機会の確保の方針に基づき、適応指導教室指導員の学校派遣による別室指導、オンライン授業や相談員による家庭訪問などを充実させた。また、長期欠席児童生徒への支援シートを作成し、学校が年間を通じてチェックし、支援計画、実績を評価できるようにした。今後も適応指導教室に通えない児童・生徒に対しても支援が行き届くように努力を重ねていく。



適応指導教室「いぶき」

大坪 国広 議員 (日本共産党)

特別障害者手当について



町長 申請手続きが円滑にできるように支援を継続する

質問 この手当は、著しく重い障がいがあり、日常生活で常時、特別の介護が必要な状態にある在宅の20歳以上の方に支給される国の制度である。また、要介護4・5の方でも申請ができ、要件を満たせば支給される。しかし、この公的制度自体を多くの方が知り得ず、受給漏れも多い。次の点について、町長の所見を伺う。

問① 申請要件と現在の手当受給者数は、**町長** 申請要件は、重度の障がい重複している、もしくはそれと同等の疾病のある方となっている。手当を受給されている方の人数は、3年7月末現在で45名である。

問② 在宅の要介護の方への周知・申請を積極的に働きかけるべきと思うが、**町長** 要介護4・5の方への周知や申請への働きかけについては、今後は重度の要介護状態にある在宅高齢者への働きかけが重要であり、新たな手法も必要と考える。個人の状況を判断し、家族に対する周知を含め、申請手続きが円滑にできるように支援を継続していく。

こんな質問もありました
オスプレイの横田追加配備撤回を求めるべき
町長 地方自治体が賛否を唱える立場にはないが、住民の安全と良好な生活環境の確保を求めている。

問① 申請要件と現在の手当受給者数は、**町長** 申請要件は、重度の障がい重複している、もしくはそれと同等の疾病のある方となっている。手当を受給されている方の人数は、3年7月末現在で45名である。



森 亘 議員 (自民誠和会)

アフターコロナを見据えたまちづくりを

町長 デジタルトランスフォーメーションが重要



質問 町では3年度から新たに策定された長期総合計画に沿ってまちづくりを進めていくものと認識している。しかし、アフターコロナについて未知の段階での策定作業であったため、今後、計画推進

には柔軟性が求められると考える。そこで、**問③** 自治会・ボランティア活動の状況と対応は、**町長** どの団体も活動に苦慮している。しかし、ホームページを立ち上げた町内会が現れた。また、ボランティア団体もオンラインを通して活動を再開した。**問④** 学校・地域・家庭の連携の状況と今後の対応は、**町長** 新たな通信媒体を活用した活動の展開を進めたい。

町長 生産人口の減少、地域経済の縮小が進行している。対策としては、デジタルトランスフォーメーションが重要な手段と考えている。**問②** 民間事業者の動向は、**町長** 飲食業・理容業、運輸業の売り上げが減少傾向。卸売業、製造業、農業が売り上げを



中小企業が集積する工業地域

質問 千葉県八街市の児童5人死傷の事故を受け、国は9月末までに全国の通学路の総点検を実施し、10月末をめどに対策を示すよう求めている。今回の事故は飲酒運転が直接の原因ではあるが、町と

してできる限りの安全対策を講じる必要があると考える。わが町は、学校・PTA、警察署、庁内内部局（地域課・建設課他）による合同点検を毎年実施し、いくつもの改善がなされている。一層の改善を推進すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

教育長 教育委員会では、小学校の保護者などから、ガードレールとガードパイプの設置要望などを受けている。福生警察署と協議して、一小、三小と四小の通学路にはスピード抑止を図るためポストコーンを設置した。さらに、今回の合同点検により、危険箇所を把握するとともに、その対策を協議し、より一層の安全対策を推進していきたい。また、点検の結果、危険箇所や対策必要箇所については可能な限りホームページなどで公表していく予定。



原 隆夫 議員 (公明党)

ガードレールの設置など通学路等の安全対策のさらなる推進を

教育長 対策必要箇所をホームページで公表予定



ポストコーンとイメージ狭くで安全対策がされた通学路

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

コロナ禍における避難所などの体制について

町長 状況の変化に応じ見直しや増設をしたい



質問 新型コロナウイルス感染症は依然として収束する見込みが立たない。このような状況下において地震や風水害などの災害が発生した場合の体制について、次の5点を伺う。

問① 指定緊急避難場所の増設について。

町長 防災計画の改定で見直しをした。今後、も状況の変化に応じ、見直しや増設をしたい。

問② 福祉避難所（寿楽・あゆみ）が使用不可の場合、フレッシュランド西多摩が計画されているが工事期間中における対応は。

町長 工事に伴う影響は、令和5年の1年間でそれまでに施設管理者と対策を協議する。

問③ ペットの同時受け入れについて。

町長 多くの人が避難する場所であるため、人とペットは同一避難所内で区分されて避難することになる。

問④ 避難所運営マニュアルの簡略化について。

町長 主要事項を簡単に把握できるように、補足資料を作成したい。

問⑤ 災害時の協定について。

町長 現在40の協定を締結しているが被災者の生活維持のため、さらに進めていく。

こんな質問もありました
町職員のメンタルヘルスについて

町長 毎年アンケートによるストレスチェックなどを実施。職員の心身の健康維持に努める。



福祉避難所の代替施設となるフレッシュランド西多摩

下野 義子 議員 (公明党)

病気や諸事情で学校に行けない児童・生徒へのオンライン学習支援について



教育長 適応指導教室での活用を含め、充実に努める

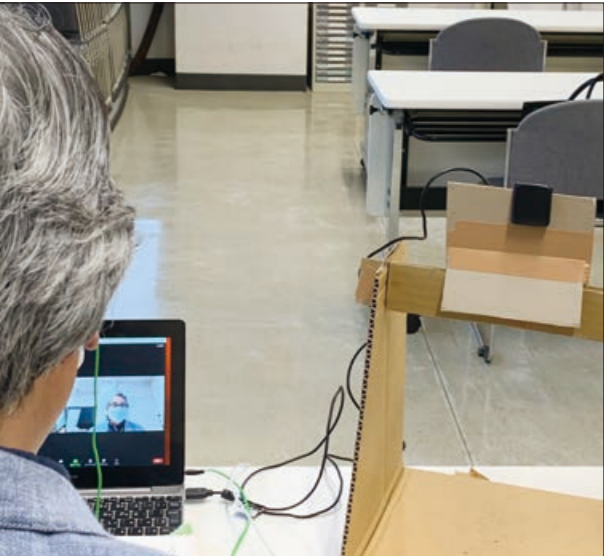


質問 国のGIGAスクール構想を受け、わが町でも児童・生徒1人に1台の端末が整備され、コロナ禍の折、オンライン授業の取り組みも進み始めている。自宅などで共に授業を受けられるオンラインによる学習支援の取り組みは、病気や個々の事情で学校に行けない児童・生徒たちに寄り添い、学習の遅れなどの不安解消にもつながると考える。町のオンライン学習支援の取り組みについて所見を伺う。

教育長 各学校での取り組みでリモート型オンライン授業の可能性と有効性も確認できたので、適応指導教室「いびき」でも導入し、現在、学校に行けない児童が適応指導員からリモートによる授業を直接受けるまでになっている。今後も適応指導教室での活用を含め、授業の質を高めることを目的として充実に努める。今年度、2学期には学校と家庭で行うオンライン授業の訓練を実施する予定である。これからも、児童・生徒の学びを止めない決意で、オンライン学習の支援に取り組んでいく。

質問 国のGIGAスクール構想を受け、わが町でも児童・生徒1人に1台の端末が整備され、コロナ禍の折、オンライン授業の取り組みも進み始めている。自宅などで共に授業を受けられるオンラインによる学習支援の取り組みは、病気や個々の事情で学校に行けない児童・生徒たちに寄り添い、学習の遅れなどの不安解消にもつながると考える。町のオンライン学習支援の取り組みについて所見を伺う。

教育長 各学校での取り組みでリモート型オンライン授業の可能性と有効性も確認できたので、適応指導教室「いびき」で行われるオンライン授業



適応指導教室「いびき」で行われるオンライン授業

～議員と話そう～

「みずほ まちなか会議」開催に向けて

<p>厚生文教委員会</p> <p>日にち：1月中旬の土日を予定 会場：役場4階（議場、委員会室、全員協議会室など）</p> <p>テーマ コロナ禍における学校・地域・家庭の役割について</p> <p>※詳細が決まり次第（12月中旬）、議会ホームページなどで公表します。</p>	<p>総務産業建設委員会</p> <p>日にち：1月以降を予定 会場：役場、コミュニティセンターなどを予定</p> <p>テーマ 詳細な内容が決まり次第、議会ホームページなどで公表します。</p>
--	---

ご参加を心よりお待ちしております。